

# 環境経営レポート

2019年度初版(改訂版)

(対象期間：2019年9月～2020年8月)

発行日：2021年3月1日

有限会社 日野環境

## 目 次

1. 組織概要
2. 認証・登録の対象範囲
3. 実施体制
4. 環境経営方針
5. 環境経営目標
6. 環境経営実績・計画及び取組状況・判定、次年度の取組
7. 環境関連法規の遵守状況の確認、並びに違反訴訟の有無
8. 緊急事態の想定及びその対応
9. 代表者による全体評価と見直し

# 1 組織概要



- 1 事業者名 株式会社 日野環境  
 代表者氏名 代表取締役 日野 正人
- 2 所在地 〒869-1233 熊本県菊池郡大津町大津132番地
- 3 環境管理責任者 衛生部主任 丸山 広倫  
 連絡先 TEL 096-293-2156 FAX 096-293-2639  
 Eメールアドレス maruyama-h@hinokankyo.jp
- 4 事業内容
  - ・一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬
  - ・浄化槽の点検・清掃
  - ・給水槽の点検・管理
  - ・木材加工（まき燃料製造）
  - ・ごみ処理施設等の包括管理業務
- 5 事業規模  
 法人設立年月日 1978年（昭和53年）4月1日  
 資本金 600万



## 保有車両

4 t パッカー車	5 台	8 t 脱着装置付コンテナ車	1 台
2tパッカー車	1 台	2 t チッパー車	1 台
2 t 深ダンプ車	1 台	4 t 強力吸引車	1 台
2 t ダンプ車	1 台	4 t 高圧洗浄車	1 台
3 t 移動式クレーン車	1 台	軽車両	8 台
3 t バキューム車	4 台	0.3m <sup>3</sup> 油圧ショベル	1 台
2 t バキューム車	1 台	0.5m <sup>3</sup> トラクターショベル	1 台
10 t バキューム車	1 台	ホイールローダー	2 台
2 t 脱着装置付コンテナ車	1 台	フォークリフト	1 台
4 t 脱着装置付コンテナ車	2 台		

## 敷地面積

7260m<sup>2</sup>



	単位	2015年度 9月～翌8月	2016年度 9月～翌8月	2017年度 9月～翌8月	2018年度 9月～翌8月
従業員数	人	39人	37人	35人	35人
売上高	万円	35,857万円	38,386万円	37,169万円	36,671万円
事務所床面積	m <sup>2</sup>	7260m <sup>2</sup>	7260m <sup>2</sup>	7260m <sup>2</sup>	7260m <sup>2</sup>
収集運搬量（一般廃棄物）	t	7,150,460 t	6,784,792 t	6,593,987 t	6,644,958 t
運搬距離	km	104,846 km	99,323 km	101,647 km	100,714 km
処理処分量（し尿）	t	6,019,720 t	5,424,740 t	5,000,830 t	5,791,160 t
運搬距離	km	87,012 km	75,983 km	99,124 km	78,151 km

6 事業年度

9月～翌年8月

## 産業廃棄物収集運搬業・一般廃棄物収集運搬業等の許可状況

	許可の種類	許可権者	許可番号	許可年月日	有効年月日
1	産業廃棄物収集運搬業	熊本県知事	04300053346号	平成26年11月9日	平成31年11月8日
2	一般廃棄物収集運搬業等 <small>事業系一般廃棄物及び臨時の家庭ごみ</small>	大津町長	第2号	平成30年7月6日	平成32年3月31日
3	一般廃棄物収集運搬業等 <small>し尿及び浄化槽汚泥</small>	大津町長	第1号	平成30年7月6日	平成32年3月31日
4	一般廃棄物収集運搬業等 <small>事業系一般廃棄物及び臨時の家庭ごみ</small>	菊陽町長	菊陽町指令環150号	平成30年7月6日	平成32年6月30日
5	一般廃棄物収集運搬業等 <small>木くず</small>	菊陽町長	菊陽町指令環151号	平成30年7月6日	平成32年6月5日
6	一般廃棄物収集運搬業等 <small>し尿及び浄化槽汚泥（運搬業）</small>	菊池市長	菊市環許第1907号	平成31年4月1日	2021年3月31日
7	浄化槽保守点検業者登録	熊本県知事	熊本県知事（31） 第17号	平成31年4月1日	平成34年3月31日

(産業廃棄物収集運搬業の事業範囲)

木くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を除く）



## 2 認証・登録の対象範囲

1.対象事業所 熊本県菊池郡大津町大津132番地

2.事業活動 上記の事業内容



## 3 実施体制



### 役割分担

#### 代表者

- ・環境経営全般について責任と権限を持つ
- ・環境経営方針を作成・見直し、全従業員へ周知させる
- ・エコアクション21を運用し、維持するための経営資源を用意する

#### 環境管理責任者

- ・毎年、環境経営目標、環境経営計画を作成する
- ・3か月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実地状況を確認・評価する
- ・上記の達成状況、実地状況を代表者へ報告する

#### 総務部

- ・電気・ガス・水道・化石燃料の使用量把握
- ・事務所廃棄物の削減

#### 衛生部・施設維持管理部

- ・車両整備及び管理
- ・二酸化炭素排出の削減

#### 全従業員

- ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する
- ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

## 4 環境経営方針

### 企業理念

私達有限会社 日野環境は、廃棄物収集運搬業等を通じ、持続可能な社会を目指し社会に存在価値を認められる企業として、地域の環境保全に努めます

### 経営方針

- 1.環境負荷の低減を目指し、重要項目として下記の項目に重点を置き、計画的・継続的・効果的な環境負荷削減活動を行います
  - ① 電力、燃料等のエネルギー、二酸化炭素排出量を削減します
  - ② 廃棄物排出量を削減、リサイクル化に努めます
  - ③ 節水に努め、水使用量を削減します
- 2.全社員が、地域社会における役割と責任を認識し、地域活動に努めます
  - ① 私達は、地域社会の一員であることを自覚します
  - ② 地域の企業・環境団体や行政との連携を図り、地域が参加できる環境保全活動に取り組みます
- 3.環境経営の継続的改善を誓約します
- 4.適用される環境関連法規などの遵守を誓約します
- 5.環境経営方針は、全従業員に周知します

制定日 2019年8月20日

(有)日野環境 代表取締役 日野 正人

## 5 環境経営目標（2019年度）

環境経営目標	単位	基準年度	目標		
		2018年度	2019年度 (1%削減)	2020年度 (2%削減)	2021年度 (3%削減)
二酸化炭素排出の削減	kg-co2	187,813.98	185,935.84	184,057.70	182,312.90
電気	Khw	8,331.00	8,247.69	8,164.38	8,081.07
ガソリン	L	6,914.40	6,845.30	6,776.10	6,707.00
軽油	L	65,458.00	64,803.40	64,148.80	63,494.30
廃棄物排出量の削減	t	—	—	—	—
一般廃棄物排出量の削減	kg	300.00	297.00	294.00	291.00
産業廃棄物排出量の削減	t	—	—	—	—
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	501.00	496.00	491.00	486.00
化学物質使用の適正管理	—	—	使用量の把握・適正管理	使用量の把握・適正管理	使用量の把握・適正管理

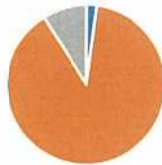
### 備考

1. 電力の二酸化炭素排出係数は、平成30年度版九州電力の値(0.347kg-co2/kWh)を適用した
2. 基準値は、2018年度(9月～8月)値とした
3. 化学物質は、一般家庭用殺虫剤を使用することがあり、使用量の削減が難しく、使用量の把握と適正管理に努める
4. 自社事業活動からの産業廃棄物はありません

### 二酸化炭素の割合（2018年度）

電気	2,890.86kg-co2	2%
軽油	168,881.64kg-co2	89%
ガソリン	16,041.48kg-co2	9%
合計	187,813.98kg-co2	

■ 電気 ■ 軽油 ■ ガソリン





## 6 環境経営実績・計画及び取組状況・判定、次年度の取り組み

### 環境経営実績

活動期間 2019年9月～2020年8月

項目	単位	基準年度	活動期間	判定
		2018年度	2019年9月～2020年8月	
二酸化炭素排出の削減	kg-co2	187,813.98	192,397.52	×
電気	Khw	8,331.00	9,419.00	×
ガソリン	L	6,914.43	6,316.52	○
軽油	L	65,458.00	67,129.36	×
廃棄物排出の削減	t	—	—	—
一般廃棄物	kg	300.00	60.00	○
産業廃棄物	t	—	—	—
水使用量の削減	m3	501.00	506.00	×

活動項目	活動内容	判定	目標達成判定
二酸化炭素排出量の削減 電気	: 使用していない部屋の照明は消灯する	○	×
	: 照明器具をLEDへ交換	導入済	
	: 照明器具・エアコン等を省エネ機械へと更新していく	△	
	: 太陽光発電設備の導入	導入済	
ガソリン・軽油	: 夜間、休日は、パソコン・プリンターなどの主電源を切る	○	△
	: エコドライブの励行	○	
	: アイドリングストップを活用する	○	
	: デジタル式運行記録計・ドライブレコーダーの設置	導入済	
	: 収集ルートを確認し、移動距離の短縮を目指す	○	
水使用量の削減	: 始業前点検により、故障を減らす	○	△
	: 節水に努める	○	
	: 洗車時は水を出しっぱなしにしない	○	
一般廃棄物	: 雨水の貯留タンクや雨水利用施設で雨水利用を行う	○	○
	: 分別を徹底しリサイクルに努める	○	
化学物質	: 埋立や焼却を減らす	○	—
	: 適正管理に努める	—	

### 次年度の取組

短期間の取組だった為、活動内容を強化・継続していく  
収集場所・車両の増加等の場合にも対応して活動を行う



## 7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務と受ける主な環境関連法規制は次の通りです。 過去3年間での違反・訴訟はありませんでした。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物処理業（産業廃棄物収集運搬） 廃棄物処理業（一般廃棄物収集運搬） 浄化槽保守点検業 浄化槽清掃業	確認日・氏名
		2020.10.1丸山広倫
		○
浄化槽法	浄化槽保守点検業 浄化槽清掃業	確認日・氏名
		2020.10.1西口岳志
		○
水質汚濁防止法	産業廃棄物処理業 一般廃棄物処理業 浄化槽保守点検業	確認日・氏名
		2020.10.1西口岳志
		○
騒音規制法	まき製造時のチェーンソー使用	確認日・氏名
		2020.10.1丸山広倫
		○
容器包装リサイクル法	容器包装の市町村による分別収集	確認日・氏名
		2020.10.1丸山広倫
		○
家電リサイクル法	冷蔵庫 エアコン 洗濯機 テレビ	確認日・氏名
		2020.10.1丸山広倫
		○

想定した緊急事態
1. 収集運搬中に積み荷からの発火 2. 収集運搬中に積み荷の飛散 3. 車両からの油もれ 4. 交通災害
対応策
1. 収集物を目視にて確認・消火器を車両に積載しておく 2. 収集後は、収集物が確実に積み込まれたか確認する 3. 油漏れには車両にウエスを常備して対応する 4. 外部による交通災害防止訓練

#### 訓練結果

- 1 発火時における消化作業訓練にて、消火器の場所・使用期限を、確認して周知させることができた。
- 2 積み荷の飛散は、移動中にゲートを閉めて飛散防止ができた。
- 3 油漏れ等は無かったが、ウエスの枚数を増やすようにした。
- 4 交通災害は、発生しなかった。今後も交通災害防止訓練を継続して行う。

## 環境上の緊急事態の試行及び訓練の結果

日 時	令和2年1月14日
名 称	パッカー車両の火災発生時の消火作業訓練
場 所	(有)日野環境
想定した緊急事態	埋立ごみ回収時における車両火災
試行及び訓練結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消火器の取付場所の確認</li> <li>・ 消火器の使用期限の確認</li> <li>・ 消火器の使用方法確認</li> </ul>
対応策の有効性の確認結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火災発生時の、初期対応として消火器による消火活動は有効性がある。</li> <li>・ 二次対応として、各関係所への連絡が必要である。</li> </ul>
対応策の改訂及び周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積み込み時、回収物の目視確認を強化していく。</li> <li>・ 消火器の、定期的な点検を継続していく。</li> </ul>

### 試 行 及 び 訓 練 参 加 者

所 属	氏 名	所 属	氏 名
衛生部	丸山 広倫	衛生部	山口 健史
衛生部	平井 幸修		
衛生部	山内 翔貴		
衛生部	高田 教一		
衛生部	竹下 祐亮		
衛生部	大川 真		



# 訓練写真

- 1 消火器の取付場所確認
- 2 消火器の使用方法確認
- 3 消火器の使用期限確認

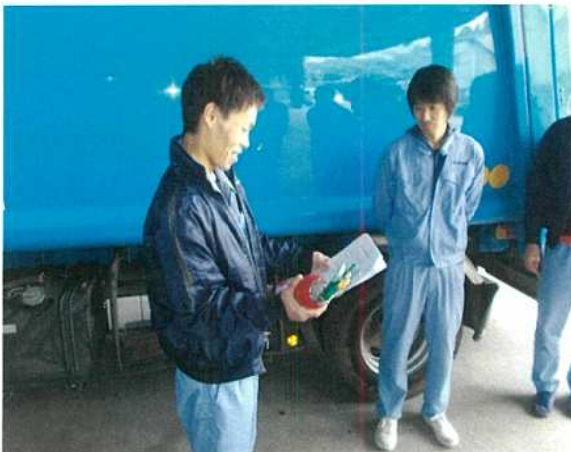
## 1 消火器の取付場所確認



## 2 消火器の使用方法確認



## 3 消火器の使用期限確認





## 9 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

記録その1：評価及び見直しに必要な情報(環境管理責任者)

記録日：2021年2月1日

	環境経営目標	環境経営目標の達成状況	環境経営計画の実施状況	コメント
環境経営目標の達成状況・ 環境経営計画の実施状況	二酸化炭素排出量の削減	○	○	継続する
	廃棄物排出量の削減	○	○	継続する
	水質用量の削減	○	○	継続する
	事業活動における環境配慮の推進	—	—	—
環境関連法規の遵守状況のチェック結果	遵守良好であった			
外部からの苦情等の受付結果	外部からの苦情は無かった			
前回の代表者の指示事項とその取組結果				
その他 (前回の審査での指摘事項の改善結果、その他改善への提案)	その他 1、目標値を半年から1年間で算出した。 2、環境負荷が目標値を達成できなかった。 ①電力 コロナ禍で従業員の安全対策として、空気清浄機、休憩室の増設等による。 ②軽油 新焼却場の完成に伴う搬入距離の増加によるもの			

記録その2：評価及び変更の必要性と指示(代表者)

記録日：2021年2月1日

環境経営システムが有効に機能しているか	有効に機能していた
環境への取組は適切に実施されているか	社内に環境経営目標の看板を掲示して実施されている
環境経営方針 変更の必要性(○有 ●無)	[変更の必要性がある場合は有に●を付けて、その指示事項を記載する。]
環境経営目標・環境経営計画 変更の必要性(○有 ●無)	[変更の必要性がある場合は有に●を付けて、その指示事項を記載する。]
その他の環境経営システムの要素 変更の必要性(○有 ●無)	[変更の必要性がある場合は有に●を付けて、その指示事項を記載する。]
○取組の対象組織・活動の明確化 ○環境負荷の把握・評価 ○環境関連法規等の取りまとめ ○実施体制の構築 ○教育訓練に実施 ○環境コミュニケーションの実施 ○実施及び運用 ○緊急事態への準備及び対応 ○環境文章及び記録の作成・管理 ○取組状況の確認及び評価	環境経営システムの要素は、変更なし。 代表者(社長)の指示 1、まずは、このシステムを理解し、環境+経営の基本方針を理解し、実行してほしい。 2、コロナ禍で、従業員の健康管理を推進してほしい。 3、地域のためになる、継続する企業を目指したい。